

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度第16回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・三の輪台いこいの広場プロポーザルによる利活用事業者募集要項（案）について（公開）

### 【協議事項】

- ・令和4年度地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

令和4年3月15日（火）午後6時30分から午後7時41分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 中澤武志（会長）、青山恭造（副会長）、田中美佳（副会長）、磯田一裕、今川芳夫、河野健一、坂井芳美、竹田禎広、田中 実、田村雅春、古澤悦雄、増田和昭、水澤敏夫、水島正人（欠席者2名）
- ・産業政策課： 五十嵐課長、岡係長
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【中澤会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：竹田委員、田村委員に依頼

議題【報告事項】三の輪台いこいの広場プロポーザルによる利活用事業者募集要項(案)について、担当課へ説明を求める。

【産業政策課：五十嵐課長】

- ・「三の輪台いこいの広場プロポーザルによる利活用事業者募集要項(案)」に基づき説明

【中澤会長】

説明に対し質疑を求める。

【青山副会長】

駐車場を利用したい一般の人が、今の駐車場をそのまま継続利用できるのか、新しくするのか、自由に出入りできるのか、お聞かせ願いたい。

【産業政策課：五十嵐課長】

三の輪台いこいの広場は条例が定まっております、施設としては、多目的広場とその他附属施設である。その他附属施設の中に駐車場も含まれているので、一般の人でも自由に使用可能であり、利活用事業者がその駐車場を使うことも可能である。

【磯田委員】

3点伺いたい。

1点目、募集の趣旨でリフレッシュを図る施設ということだが、施設の目的はこの趣旨とあまり変わらないと思うが、行政財産の目的外使用に当たるものなのか。

2点目、使用料の話で、施設の維持管理費だけを使用者に求めて、施設の使用料は取らないという話だが、民間に行政の財産をインセンティブとして与えすぎているという印象がある。例えば、なおえつ保育園の話や、旧師団長官舎も5年間賃料が無料だという話も聞いており、かなり譲歩している提案のような気がする。今まで、無策でやってきたものを民間にやってもらうということだとは思いますが、あまりにも市の財産を軽く民間にある部分譲渡する、あるいは、無料で使用させるというところの根拠というか、市民に対しての説明が不足しているのではないかと思うので、そこはしっかり教えていただきたいと思う。先ほどの説明では、市の管理費が87万4,000円のところを任せるとのことだが、一部エリアで市の管理の部分もあるという中で、市の管理のお金はどうなっていくのかも見えないという気がする。

3点目、6ページの結果の通知や評価のところだが、最近プロポーザルで出された提案が、例えば1社のみ応募で、競争がない状態の中で、その評価点だけでそこに決まってしまうという事例も見受けられる。出される提案書の内容を公開してほしいという思いがいつもあって、点数とともにどういう案が出されているかを公開する予定はあるのか。

**【産業政策課：五十嵐課長】**

1点目、事業の目的は、ほぼ一緒である。条例でも設置について記載されており、当初の趣旨は踏襲しようと思っている。ここは、内容的に変わらず、市場調査も踏まえた中で余暇活動の中での取扱いと承知している。

2点目、金額的な部分で、何が正解かは難しいところである。いくらであれば適当な金額なのかというのがあると思う。光熱水費、草刈り等でも87万4,000円プラス職員がそこに関わる分の費用もあり、その辺を勘案した中で、金額をかなり検討した。管理運営をみていただく予定であるため、無料といっても少なくとも87万4,000円プラス携わった人件費を含めての利活用者が負担する部分だと思っている。まず1年間これでやらせてもらい、どのくらいの利用、利益があるのかを見ながら、次年度以降は、その費用についても考えていきたいと思っている。初年度は、試験的な部分もあるので、まずは、多くの応募をいただきたいと思っている。まだ最終決定ではないが、使用料は無料にして、維持管理費をみてもらい、管理・運営していただき、利活用に係る提案をいただければ良いかと思っている。

3点目、他の施設でも、出てきた内容については公表していないと思うが、公表できる部分は公表したいと思う。結果については6ページにあるように、選定理由は公表させていただく。出てきた提案について、どこまで出せるか、検討させていただきたい。

**【磯田委員】**

施設として、どこまでを使う提案になるのか見えないが、提案次第なのかという気がする。例えば、私もあそこでテニスをしたり、バーベキューをしたりしていて、今までは自由に使えていた。勤労者として低料金で利用できていたのが、民間業者が入ることによって、キャンプサイトの中にテントを張るとお金がかかるようになる。テニスコートもそうなるという線引きをしているのか。そういった意味では、相手の言いなりの値段になっていくという可能性が高いのではないか。市でやっていた事業が様々な要因の中で民間に任せようとしていることは、メインの目的は同じなので、施設利活用事業者

に対して、適正価格を求めるとか、要求水準書みたいなものが本来あるべきなのではないか。そこが、相手に任せるといようなプロポーザルだとすると、あいまいな募集をかけて、手を挙げてくれた業者に何とかやってといような意図が透けて見える。その辺のきちんとした制度設計をしているのかどうか再質問したい。

【産業政策課：五十嵐課長】

確かにテニスコートは昔あったが、今は使える状態ではない。

【磯田委員】

テニスコートは範囲外ということか。

【産業政策課：五十嵐課長】

範囲も広大なので実際には草刈りをしているのはバーベキュー広場の周辺である。全部のエリアが使える範囲ではないという話もあり、ある程度のところは線引きをしたいと思っている。今回の利活用事業者の使う場所はある程度限定させてもらおうと思っている。逆に全部やろうとすると広すぎてだめだという意見もあるので、そこは最終調整をしていきたい。駐車場等無料で使える部分は残していきたいと思っているが、草刈りなど何もしないと草も生えてきて、自由に遊べる所ではない状態である。今、バーベキューエリアの部分は市で維持管理しているので、そこは少なくとも利活用事業者から維持管理をしていただいて、プラスアルファのところも無料で遊べるところは作ってきたいと思っている。私たちも全部使ってもらおうとは思っていないし、おそらく事業者も全部やるとなると、かなりの維持費がかかってくると思うので、お金をいただくところは利活用事業者が整備し、それ以外の自由な場所も確保していきたいと思っている。市有財産であり、市としても、使用料をできるだけいただくつもりだが、まず1年間やって、見定めて必要な経費をもらおうと思っているが、現状ではかなり維持管理費がかかるので、その中で利活用事業者がやってもらいたいと思っている。

【古澤委員】

三の輪台への道は、夜中にバイクが走ったり、不法投棄があつたりするが、事業者が入って明るくなった場合、格好の場所になると予想される。その辺の管理はどのように行う予定かお聞きしたい。

【産業政策課：五十嵐課長】

市道なので市の道路課が管理している。一時期、暴走族がかなりいるという話も聞いたが、今は聞いていない。今後については、利活用事業者が入ることによって目が届く

部分があると思う。そのような活動などが活発になれば、警察からパトロールをさらに強化してもらいたいと思っている。警察のほうでも定期的に巡回しているようである。不法投棄も年間でみるとたまにあって、不法投棄されていると連絡がくるが、最近では聞いていない。そこは利活用事業者が入ることによっても、管理が徹底されるのではないかとと思っている。

**【中澤会長】**

他に質疑を求めるがなし。

— 産業政策課 退室 —

次に【協議事項】令和4年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

**【中村センター長】**

- ・「令和4年度地域活動支援事業の概要（案）」、「令和4年度地域活動支援事業に関するQ&A（案）」に基づき説明

**【小川係長】**

- ・資料No.1「令和4年度地域活動支援事業 直江津区 審査スケジュール（案）」に基づき説明

**【中澤会長】**

説明に対し質疑を求めるがなし。

- ・事務局案どおりとすることで委員から同意を得る

次に、「なおえつ うみまちアートの決算状況等について」事務局へ説明を求める。

**【中村センター長】**

- ・「なおえつ うみまちアート実行委員会 決算」、「なおえつ うみまちアート記録集」に基づき説明

**【中澤会長】**

説明に対し質疑を求める。

**【田村委員】**

前回の説明の時にアンケートの取り方を検討してほしいことを伝えた。来場者の住所がどこかと、どのような交通手段を使ってきたかを聞いてほしいと要望したが、その回答が書かれていない。県内、県外か、例えば、鉄道で来るとか、車で来るとかを質問しても良いのではないか。いかに公共交通を大事にするという視点から同じ企画政策部で、公共交通の要の部でありながら、そういった設問をしないのはなぜか。

【中村センター長】

担当課に申し伝えておく。

【増田委員】

相当のお金を使っているなので、しっかりと検証しなければならない。市議会でも質問されていると思うが、少し細かくなるが担当課へ伝えてほしい。

まず、アンケートだが、来場者アンケートは良いが、住民へのアンケートと市民へのアンケートをするべきだと思う。今からでも遅くないので、実施して検証してほしい。住民とは、直江津区の住民だが、当事業を知らない人は相当いる。市民となるとほとんど知らない。ごく一部の人しか参加していない。令和4年度は休むと言っている。また開催するとすれば、今回の検証をしっかりと踏まえたうえで実施してもらわないといけないと思う。特に、昨年説明を受けた時に、7月から開催すると説明され、委員の皆さんは、今からで間に合うのかと懸念をして、結果的に準備不足の部分が出ている。そこは、評価のところに書いてあったが、主催者はしっかり受け止めてもらいたい。

また、作品を現場で販売していた。その販売金額はどこにいったのか。当然、実行委員会で実施しているので、実行委員会の収入の中に入るべきものだと思うが、その扱いがどうなっているか知らせてほしい。

歳出の部分だが、「説明」で大雑把にいろいろ書いてあるが、それぞれの金額はいくらだったのか報告してほしい。作家がこちらに来て打ち合わせをする際の宿泊費や交通費はどこに入っているのか。作品制作委託の中か。この説明の中からは読み取れないので聞かせてほしい。市民の声を聞くと、現代アートの人たちにほとんどの金額がいつているのではないかと考えている人たちがいるが、どうなのか。作家たちの制作費の相場はないので、次回、しっかり検証しないといけないと思う。

イベント費の地域団体活動助成とは、どういった団体にどれだけ助成したか。これも地域協議会に対し説明してほしい。

事務局費の作家渉外・事業調整業務委託で330万円とあるが、どこまで業務委託したのか。地域活動支援事業が5万、10万の事業費を使うのに細かい説明をしっかりと求められている。しかし、何千万と使うこの事業について、細かい説明がないというのは、私たちだけではなく市民の皆さんもそう思っている。会う人、会う人に「あのお金はどうなったのか」と言われる。そういう面から、私たちにも知らせてほしいので、しっかり伝えていただいて、別途報告してほしい。

【中澤会長】

企画政策課で出している決算報告書はこれだけか。直江津区でこういう企画をやることは意義があると思うので異論のない形で行ってほしい。

次に、その他について事務局へ説明を求める。

【中村センター長】

市民いこいの家の温浴機能の廃止及びその後の利活用について、直江津区地域協議会から答申したことに対して、市から2月16日付けで市の方針が示された。3月25日発行の地域協議会だよりに全文掲載し、住民周知を図っている。

次に、昨年6月1日から総合体育館の改修工事に伴い、なおえつ屋台会館にスポーツ協会事務局が移転していたが、工事が予定どおり進み、3月31日付けで総合体育館に戻る旨の連絡がスポーツ推進課からあった。

【小川係長】

地域活動支援事業について2点報告がある。

1点目、三八朝市周辺まちづくり協議会の『『恋人の聖地』モニュメント制作事業』について中止の報告があった。11月に直江津小学校とのワークショップを経てデザインを検討し、設計まで進んでいたが、設置予定場所が県の土地であることから、直江津港湾事務所と協議したところ、デザインが安全性に欠けるということで、認められなかった。年度内の設置が困難なことから、今年度は中止することになった。ワークショップとデザイン検討の経費以外を減額すると報告があった。

2点目、令和2年度の採択事業で、直江津地区町内会長協議会の「直江津地区高齢者いきいき支援事業」はスカットボールを整備して活用する事業だが、今年度の事業の実施報告があった。7セット整備して5町内会に配置しており、そこで定期的に使用しているほか、配置以外の町内会にも貸し出しをして積極的に使ってもらっている。利用簿を整備して利用状況を把握しながら、この2月までで延べ99回の利用があったとのことである。今年度は提案事業としてはなかったが、自主事業として11月28日にスカットボールの交流大会を開催し、10町内会14チームが参加した。今後も継続して事業を実施していきたいと報告があった。

【中澤会長】

説明に対し質疑を求めるがなし。

【小川係長】

福島城を愛する会との意見交換を検討していたが、福島城を愛する会に状況をお聞きしたところ、今後の活動の方向性を地元町内会と協議しているということであり、3月の開催は見送らせていただいた。今後も引き続き事務局で状況を聞きながら検討したいと思う。

次回協議会の事務局案は、4月19日（火）午後6時半からと考えている。内容は、今年度の地域活動支援事業で直江津プライド2021から提出される予定のグランドデザインの提言書について、報告していただきたいと思う。

**【中澤会長】**

- ・協議の結果、4月26日（火）午後6時半からとする
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : [hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。